

なじらね.jp

なじらね
春
どっとじゃーぴー

平成 23 (2011) 年 3 月 31 日 (木) 発行 - 第 5 号 -



[発行人] 「にいがた青年海外協力隊を育てる会」 会長 平山 征夫 / 事務局長 横山 容司郎
The Supporting Organization of JOCV NIIGATA
[事務局] 〒950-2012 新潟県新潟市西区小針台1-15 株式会社 アルファブライト 内
Tel. 025-234-1500, Fax. 025-234-1002, E-mail; n-sodaterukai@alpha-bright.co.jp
URL http://www.n-sojocv-najirane.com
[題字] 藤田 美枝子 (※「なじらね」とは、新潟弁で「元気ですか?」の意味)
[編集人] 広報文化専門委員会 山田 規央

- NAJIRANE Headline -

東北地方太平洋沖地震および長野県北部を震源とする地震で亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からのお見舞いを申し上げます。一日も早い復興に向けて立ち上がられる皆さんのために、私たちも出来る限りの応援をして参る所存です。

にいがた青年海外協力隊を育てる会 会長 平山 征夫

- 【巻頭言】 “なじらね.jp” の第5号の発行に寄せて P-1
- 【巻】 「にいがた青年海外協力隊を育てる会」 第2回理事・役員会を開催! P-2
- 【表】 当会協力によるJICAボランティアOV(押しかけ)出前講座を実施! P-2
- 【参】 本県出身のJICAボランティア(青年海外協力隊&シニア海外ボランティア)
平成22年度2次隊(H22-2)、平成22年度3次隊(H22-3)が任国へ赴任! P-3
- 【四】 JICAボランティア(候補、派遣中、帰国隊員)からのメッセージ P-4~6
- 【五】 ドミ共&フィジーの子どもたちへの楽器・図工用具募集のご報告 P-7
- ★ Information など P-8

Let's Access Our Official Homepage! ★ <http://n-sojocv-najirane.com>

【巻頭言】“なじらね.jp” 第5号の発行に寄せて ～ 青木盛久さんとにいがた『育てる会』 ～



にいがた青年海外協力隊を育てる会 理事
広川 俊男 (新潟産業大学 学長)

「新潟でも『育てる会』の設立を!」と、こちらに何回も足を運び、とても熱心に呼びかけて下さった方が、(社)協力隊を育てる会副会長の青木盛久さんでした。協力隊事務局長、駐ペルー、駐ケニア大使を歴任された、協力隊の強力な理解者です。

先日久々のお電話を差し上げ、ご無沙汰をお詫びしました。お元気なお声で、新潟の『育てる会』について、「平山会長のもと、広い県内各地域の会員やOVの連携がとてもうまくいっている様子」との感想を頂戴しました。

また、国際協力関係の「事業仕分け」については、その問題点を指摘しながらも「私たちの中にも、それぞれの活動をお互いに褒めあって満足感に浸っているような内向きで甘えた、反省すべき部分もある」とし、改善すべきと話されました。そして、『育てる会』の活動について、「これまで以上に外側への訴えを強化すべきであり、誰にでも分かるように伝えるべきだ。○年度○次隊などの言い方は関係者にしか通じない」とも。

柏崎の私は、本会誕生以降の2年半に、EメールやDMによる情報の量と質の大幅な拡充と諸活動の着実な前進を感じています。特に(株)アルファブライトさんのご支援と、事務局並びに専門委員会の皆様のご尽力にいつも感謝しています。

私自身も「外に向けて強く訴える」を意識し直し行動して参りたいと思います。

【菴】 「にいがた青年海外協力隊を育てる会」第2回理事・役員会を開催！

去る、2010年11月13日(土)の16:45～17:30、新潟会館(新潟市中央区)にて、「にいがた青年海外協力隊を育てる会」第2回理事・役員会を開催致しました。JICAボランティア家族連絡会に続いて開催されたため、ハードスケジュールではありましたが大変活発に意見が交わされました。

※参加者:役員(会長、副会長、理事、幹事)6名、運営委員7名、委任状10名

1)会費自動引落について

10月に実施したアンケートの結果を踏まえ、会員の意思に添えるように、自動引き落としと現行の振込とどちらか選択出来るようにする。ただし新規会員は自動引き落とし方式にする。という結論になりました。今後の課題は金融機関(郵便局が最も安価)との折衝が必要で、自動引き落としの場合は会員数が100人は必要という条件をどのようにクリアするかです。

2)現職参加促進について

昨今の経済状況の中で一般企業を含め、県や市などの行政もぎりぎりの人員で業務を執行しているため、たとえ条例が制定されていても、簡単に現職で参加することは困難な状況であることは周知のとおりです。しかし、根気強く行政や企業にアピールしていくことと、募集説明会等でより具体的に現職参加制度を応募希望者に説明していくことを確認しました。

3)主催イベント(出前講座)について

総会において承認された、本会主催の出前講座を県内の大学等で積極的に実施してゆくことを確認しました。

最初の講座は7月に新潟大学で実施しました。

4)帰国隊員の就職斡旋について

ハローワークに詳しい石渡理事に説明をして頂き、ハローワークに「協力隊OVコーナー」を設けてもらう方法等を検討しました。

又、当会事務局の(株)アルファブライトさんが職業紹介事業の認可を受けていることから、協力して頂くようお願いしました。

5)前期活動報告

本年4月から10月までの活動内容を事務局より報告して頂きました。



～事務局より会員の皆様へ～

会員の期限が終わる前に、クロスロード誌の送付便に併せ、会員ご継続のお願いにつき、ご案内しております。その際は、どうぞ速やかにお手続きをして頂きます様に、お願い申し上げます。

また、メルマガ配信登録を済まされていない方でご希望の方は、事務局までご連絡願います。ホームページも随時更新しておりますので、定期的にご高覧下さい。

(文:横山 容司郎 / 写真:山田 規央)

【弐】 当会協力によるJICAボランティアOV(押しかけ)出前講座を実施！

当会が協力して行なう、「押しかけ」的な国際理解出前講座。第三回目となる講座を実施しました。

押しかけ御免！

第三回 JICAボランティアOV 出前講座

- 日時:平成23年3月4日(金)、14:05 - 14:50(5限)
- 場所:見附市立見附小学校 ○ 対象:5年生(98名)
- 講師:JOCV 田村 美由紀 さん
(H20-3/スリランカ民主社会主義共和国/青少年活動)
- 主催:見附市立見附小学校
- 協力:にいがた青年海外協力隊を育てる会



スリランカのサリーを着ての田村さんのお話は、予定時間を大幅に過ぎてしまうほどの熱の入りで、子どもたちも大変興味深く聞き入っていました。予想に反して子供たちの質問も途切れずに15:10くらいに終了、おそらく6限に食い込んでしまったようです。今後、スリランカの子供たちと文通で交流していくようです。

子供たちの反響もよかったのですが、若い先生方が結構興味をもたれていたのが印象的でした。現職参加で参加していただければありがたいです。2回目、3回目につながればと、校長先生にもお願いをしてまいりました。

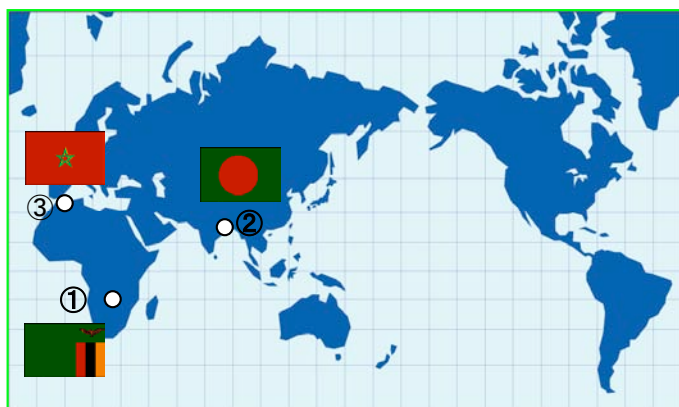
お手伝いいただいた横山さん、佐々木さん、有難うございました。

(文:小泉 勝 / 写真:横山 容司郎)

【参】 本県出身のJICAボランティア（青年海外協力隊&シニア海外ボランティア） 平成22年度2次隊(H22-2)、平成22年度3次隊(H22-3)が任国へ赴任！

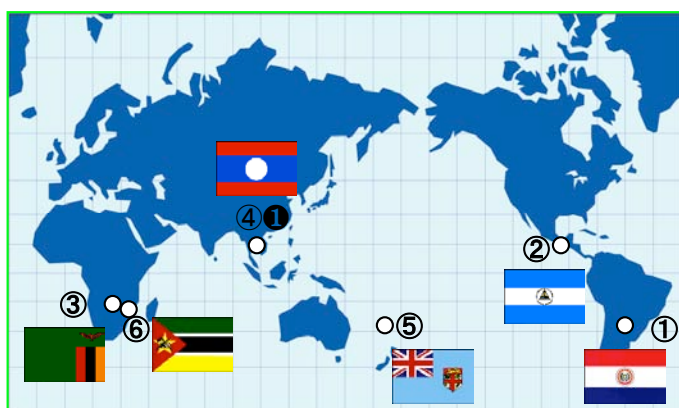
本県出身の青年海外協力隊(JOCV)・シニア海外ボランティア(SV)、平成22年度2次隊(H22-2)の新隊員3名(JOCV 3名)が平成22年9月下旬に、平成22年度3次隊(H22-3)の新隊員7名(JOCV 6名+SV 1名)が平成23年1月上旬にそれぞれの任国へと出発しました。新隊員は派遣前訓練終了後に本県に帰郷し、それぞれ9月17日、12月15日に新潟県庁および新潟県国際交流協会に表敬訪問を行ないました。当会からは横山事務局長が同伴致しました。これに併せ、最近帰国したH20-1の7名(JOCV 7名)およびH20-2の5名(JOCV 4名+SV 1名)も同行し、帰国報告を行ないました。訪問日それぞれの夕刻より、当会と新潟県青年海外協力協会(JOCA新潟)との共催で派遣前壮行会を新潟市内で行ない、新隊員の皆さんを激励させていただきました。当会としては、任国で活躍する本県出身隊員の活動を地域ぐるみでサポートしていけるように取り組んでいきます。各隊員の紹介と抱負は次の通りです。

新隊員(H22-2)	任国	職種	
①原 寛典 さん(J)	ザンビア共和国	エイズ対策	現地に「この人が2年間いた」という何かを残してきたい。
②山崎 光一 さん(J)	バングラディッシュ人民共和国	村落開発普及員	日本での恩をバングラデシュで返す！！
③渡辺 良子 さん(J)	モロッコ王国	村落開発普及員	1日1日を大切に日々努力して頑張りたい。



帰国隊員(H20-1) <JOCV> ●小野澤 由華 さん(バヌアツ共和国/小学校教諭) ●上条 直樹 さん(モザンビーク共和国/理数科教師) ●嶋村(高橋) 真友子 さん(バングラディッシュ人民共和国/環境教育) ●相馬 昌人 さん(マダガスカル共和国/青少年活動) ●古川 優 さん(ウズベキスタン共和国/小学校教諭) ●見原 真 さん(ケニア共和国/青少年活動) ●渡辺 正好 さん(エチオピア共和国/体育)

新隊員(H22-3)	任国	職種	
①井口 幸子 さん(J)	パラグアイ共和国	看護師	2年間元気で活動をしっかり行なってきたいです。
②金冢 麻美 さん(J)	ニカラグア共和国	感染症対策	シャーガス病について、多くの住民の方に知っていただけるように頑張りたい。
③桐生 朋文 さん(J)	ザンビア共和国	理数科教師	子どもたちに学ぶ楽しさ、学校に来ることの意味、自然科学の奥深さを知ってもらえるように頑張ります。
④齋藤 弘子 さん(J)	ラオス人民民主共和国	看護師	任地の人々とたくさん話をしながら活動していきたい。
⑤山岸 清香 さん(J)	フィジー諸島共和国	体育	現地の人々と仲良くなる！！
⑥吉川 博人 さん(J)	モザンビーク共和国	環境教育	一つでも多くの成果と一人でも多くの笑顔を経験したい。
①伊藤 悦子 さん(S)	ラオス人民民主共和国	観光促進	自己管理に気を付け、現地の方々と楽しくプロジェクトを進めて行きたい。



帰国隊員(H20-2) <JOCV> ●池之上竹美さん(パラグアイ共和国/看護師) ●坂井晶子さん(グアテマラ共和国/栄養士) ●新保千佳さん(ガボン共和国/村落開発普及員) ●宮野希さん(セネガル共和国/植林) <SV> ●小林敏さん(パラグアイ共和国/建設機械)

※国旗&地図の引用:世界地図・世界の国旗 (<http://www.abysse.co.jp/world/>)

(文:山田 規央 / 写真:佐脇 奈都代)

【四】 JICAボランティア（候補、派遣中、帰国隊員）からのメッセージ

猪浦 智史 *Mr. Satoshi Inoura, Candidate for JOCV*

（平成23年度2次隊候補 / マラウイ共和国 / 公衆衛生 / 柏崎市出身）



友人と旅行、モンサンミッシェル(仏)にて



ーこれから協力隊に参加するにあたりー

私は、今回、二度目の応募で青年海外協力隊の隊員として活動することになりました。一回目の応募が不合格であっただけに、今回の合格はこみ上げるものがありました。ずっと夢見てきた夢の舞台だからです。しかし、時間が近づくにつれて大きな不安も隠しきれません。なぜなら、何もかも違う環境の中で生活し、なおかつ、人を助ける仕事をするとは、わかっていただことであるが、感慨深いものがあります。それだけ、人生観を変える大きなプロジェクトであると、ひしひしと感じています。

必ず自分の自信につながることを信じ、自分が今まで勉強してきた知識、技術を十分に応用し、精一杯活動していきたいと思っています。

高塚 正史 *Mr. Masashi Takatsuka, SV*

（平成21年度3次隊 / ウルグアイ東方共和国 / 養殖）



Q1; 任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

人口350万、日本の半分の面積、イタリア人とスペイン人の移民国家、国土の殆どが平地で牛1000万頭、羊3500万頭、総動物数約5000万？。首都モンテビデオには150万人住んでいますから、首都から一步出ると見渡す限りの牧場、牧場、、、ですから何と言っても盛大に焼肉、、、。ウルグアイワインと牛の腹肉を使ったガウチョ料理マタンブレは一品です。

Q2; 現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

何で暮らしているか分からない大金持ちもいますが、物価が日本と大差ないので皆大変です。一日に別々の仕事を掛け持ちしている人達も多く、女性はその他に家事、育児とてんてこ舞い。強いですね。そんな訳で食べるのがまあ早い事、とても敵いません。でも土曜日の午後、日曜日は殆どの商店はお休み、家族との団欒を大切にしています。そしてクリスマスと大晦日には盛大に仕掛け花火を勝手に、そこいらじゅうで打ち上げています。ペランダの真ん前で炸裂する花火、それはそれは壮観で、嬉しくなります。

Q3; あなたはどんな活動をしていますか？

この一年はモンテビデオから北へ350kmのCabo Polonio国立自然公園実験場で大西洋ヒラメの試験規模種苗生産技術へのアドバイス、ブルークラブ(ワタリガニ)の種苗生産、沿岸大型海藻類の調査、カキ(ネイティブ種)に関する生態調査、年明けから共和国大学理学部での二枚貝の飼育技術アドバイス、獣医学部魚病研究所で魚病診断アドバイスと、気分だけは忙しくしています。

Q4; これまでに嬉しかったこと、辛かったことは？

自然公園実験場のあるCabo Polonio 岬は人口60人？+トド、セイウチが数千頭、基本的に人間の居住は認められていません。皆不法占拠住人なんです。ですから食料は持ち込みで自炊が基本、スタッフと一緒に美味しくご飯を食べれた時が何と言っても嬉しいひと時です。岬の先端にある実験場から大西洋が見渡せるのですが、冬は寒い上に強風が吹き抜けます。股の間にオイルヒーターを挟んで顕微鏡を覗きながら寒さに震えている時が、それはそれは辛いですね。建てつけが悪いのでジッと我慢です。仕事が終わって夜空一面に降るような星空を見ていると辛さも忘れるかな？

Q5; 今後の予定や抱負を教えてください。

料理レシピの種類を増やし、美味しく作って、美味しく食べる！

実験場隣の灯台に二重に架かった虹、冬期間稀に見られる



南米最南端で暮らすマゼランペンギン



モンテビデオのカーニバル



清水 茂 Mr. Shigeru Shimizu, JOCV

(平成21年度1次隊 / ウズベキスタン共和国 / 村落開発普及員)



Q1; 任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

任国が決まったときは、私にとってほとんど未知の国でした。ウズベキスタンの人々はとても親日的で、治安も比較的良好な国です。主食はパンですが、米を食べる文化もあり、日本人には暮らしやすい国だと思います。夏冬の気候は厳しいですが様々な果物が楽しめます。ウズベキスタンの人々はいい加減なところもあり、それに腹を立てることもあります。人懐こく、私をいつも助けてくれる存在です。

Q2; 現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

ウズベキスタンは1991年の旧ソ連からの独立以降、経済指標で観れば発展し続けていますが、国民にその恩恵が広く行き渡っているわけではありません。あらゆる面で都市部と地方との格差は大きく、インフラも正しく機能していない状況です。社会的に重要な役割を持つ医療や教育、治安に従事する人達の給与も低いばかりか、支払いが滞ることもしばしばで、それが職業意識の低下を招いているともいえます。

Q3; あなたはどんな活動をしていますか？

配属先は人身売買撲滅運動やHIV/AIDSの予防啓蒙活動をしています。配属先の青年ボランティアが中心となり、教育機関に出向いて啓蒙セミナーを開催しています。また、街頭でのパンフレット配布やポスター貼りもします。私の活動はそれらへの協力、および青年ボランティアのスキルアップのために、新しい活動方法の提案や情報提供をすることです。

Q4; これまでに嬉しかったこと、辛かったことは？

嬉しかったことは、配属先スタッフや活動中のSV/JOCVと共に開催した日本紹介展に多くの地元住民が参加してくれたことです。

辛かったことは、配属先で続けていた日本語教室が諸般の事情により中止せざるを得なくなり、以後、教えていた子供達と街で会う度に、いつからまた日本語を教えてくれるの？と尋ねられたことです。

Q5; 今後の予定や抱負を教えてください。

配属先は恒常的に人材・予算不足ですが、任期も残りわずかなので、配属先が自立的・持続的に活動していけるようにさらに協力していきたいと考えています。

人身売買撲滅のためのパンフレット配布



【さまざまな生活文化ルポ ①】～任国の“ごつつお”～

リポーター：捧 文子 Ms. Ayako Sasage, JOCV

平成22年度1次隊 / マレーシア / 作業療法士



“Nasi Kerabu (ナシクラブ)”

これはマレーシアでも私の任地クランタン州での庶民的な食べ物で、屋台で一食約60円で売られています。特徴的なのが、何とんでもこのご飯の色です。わかりますか？食欲がなくなると言われている青なんです。ところが、青いご飯という珍しさに逆に食欲が湧いてしまい、また味も素晴らしいのです。ココナッツ味の青ご飯、野菜、エビ煎餅は基本セットなのですが、そこに肉や魚をトッピングしてもらい、サンバルというチリをたっぷり使った辛いソースをかけて、手でよく混ぜてから手を使っていただきます。私がこれを食べていると現地の住民は喜んでくれ、「日本で店を出せ！」とされています。(新潟でいえば、外国人が「のっぺ」が大好きと言って食べている感じ?) 食べ物はコミュニケーションツールの一つなのだと実感しています。

さて、この青い色の正体なのですが、実は花びらの色。ご飯を炊くときに一緒に入れるそうです。Nasi=ご飯、Kerabu=灰色(実際は青色ですが)というこの料理、これからもたくさん食べて、活動のエネルギーにしたいと思います。



このお花(左)から取った色をご飯に混ぜて炊きます。手際よく、紙のお皿に具材を入れていきます。

宮野 希 Ms. Nozomi Miyano, Old JOCV

(平成20年度2次隊 / 植林 / セネガル共和国)



Q1; 任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

セネガルの公用語ウォルフ語に『jam rekk』という言葉があります。Jamは平和、rekkは『ただで、』平和だけ』という意味になります。まさにこの言葉がぴったりなセネガル。時間の感覚がのんびりしていて、予定通りに行かなくても『神様がそうしたのだからしょうがない』という考え方。最初の頃は頭では解っていないが、感情としてはイライラが止まりませんでした。でも、いつももてなしの心を持ち、明るいセネガル人のお陰で充実した生活を送ることが出来ました。

Q2; 現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

村の規模や位置にもよりますが、井戸水を使い電気もある家と無い家がある。という具合に日本とは全く異なる生活環境でした(私の家は水道電気は有り)。

Q3; あなたはどんな活動をしていましたか？

私はセネガルの首都ダカールから200kmほど南へ行ったフンジュンという内海沿いの町に住み、近くの村を回り植林の指導をしていました。植林は時期が限られているので、女性達と改良かまどを作ったり、小学校で環境教育の授業を行ったりもしていました。日本人から見たら過酷な環境で生活している人々ですが、私の話を理解しようとしてくれ、一生懸命に協力してくれ、彼らに助けられた2年間でした。

Q4; 任期中、嬉しかったこと、辛かったことは？

村から帰るときに、『次はいつ来るの?』と聞いてもらえることが嬉しい瞬間でした。気候も文化も違い、jam rekk ではない事もいっぱいありましたがそれも良い経験と思えます。

Q5; 今後の予定や抱負を教えてください。

これからは、少しでも多くの人々が、日本以外の国やそこに住む人の生活を知るきっかけ作りが出来たら。と思っています。



家の近くの風景(左側の木はバオバブ)

村の女性グループと



フンジュンの夕暮れ



小林 敏 Mr. Satoshi Kobayashi, Old SV

(平成20年度2次隊 / 建設機械 / パラグアイ共和国)



Q1; 任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

環境が私が子供の頃と同じ様な感じで50年前の日本の田舎と言う感じでした。牛や馬が沢山いて、道路も砂や土の道が一杯で、雨が降るとバスが2〜3日休みます。でもバイクが沢山走っており、驚きました。

Q2; 現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

暖かい気候で物価も安く労働意欲が少ない? そんなに働かなくても生活できるから?、テレレ茶があるんですがお茶を飲み飽きたら仕事をするそんな感じでノンビリしてました。食事では肉を必ず食べます、牛、鳥 が多く又油っぽい料理方法が殆どで男も女も太った人が大変多くていっぱい食べなさいと良く言われました。

Q3; あなたはどんな活動をしていましたか？

建設機械の整備を現地の修理工員と一緒に機材の仕組みなどを教えました、また勉強のため日本の昔話をスペイン語にして絵本を作り子供に上げました。少しは日本を理解してもらえた? と思います。

Q4; 任期中、嬉しかったこと、辛かったことは？

現地ではアサードがご馳走でよく招待されてお酒を飲んでアサードを食べてワイワイ騒いで友達が沢山できたこと、しかし蚊が沢山いて最初の半年くらいは免疫が無いのか刺されると3週間くらい痒くて治らずノイローゼ気味になりました。

Q5; 今後の予定や抱負を教えてください。

昔働いていたとこでアルバイトをしています、今後も機会があればもう一度挑戦してみたいと思っています。

子どもと



馬車が活躍



機械の運搬



【五】 ドミ共&フィジーの子どもたちへの楽器・図工用具募集のご報告

にいがた青年海外協力隊を育てる会では、新潟県から青年海外協力隊員として派遣されている、神田綾子さん(H22-1/ドミニカ共和国/音楽/新潟市出身)、谷元気さん(H22-1/フィジー諸島共和国/小学校教諭/富山県出身・新潟県現職教員派遣)からの要請に基づき、両隊員の任地に届けるために、昨年10月中旬～11月末までの期間、楽器や図工用具の募集活動を行なったところ、県内外より多くの善意の物資が寄せられました。

12月19日(日)に、集まった全ての物を仕分け・整理作業をした結果、提供可能となった物資は以下の通りです。

【楽器類】・鍵盤ハーモニカ：77セット ・リコーダー：100本(アルト、ソプラノ合わせて) ・ハーモニカ：3個
・タンバリン：20個 ・ハンドベル：1セット

【図工用具】・パレット：38個 ・ペーパーパレット：4セット ・絵筆：170本 ・色鉛筆：3セット
・クレヨン：1セット ・折り紙：500枚 ・スケッチブック：6冊(半端) ・ノート：22冊

【その他】・現地の子どもたち宛ての温かいお手紙 18通(全て英語で表記)

とくに楽器においては部品一つ一つを分解し、入念に清拭(アルコール消毒)し、必要に応じて補修を行ない、音出しチェックも行ないました。鍵盤ハーモニカは約110セット寄せられましたが、損傷や部品欠損などがある物は除外をさせていただきました。また、水彩絵の具(カラー)も多く寄せられましたが、輸送上の問題より除外させていただきました。その後、市内のこども支援センターに提供をさせていただきました。

寄せられた物資には、現地の子どもたちに向けた心温まるお手紙(英語表記)までも添えてあり、このような活動を行なってきた意味を再確認できたような気がしました。

物資の募集に併せ、輸送費として活用させていただくための支援金の募金も行なって参りました。12月末現在で、**27,362円**が集まりました。

神田さんの希望により12月下旬に第1弾としていくつかの楽器を入れて1箱を送り、1月中旬に神田さんより喜びの声が届きました(下の写真)。そして3月上旬に神田さんへ11箱(楽器)、3月下旬に谷さんへ6箱(楽器+図工用具)が、それぞれの任地へと新潟から出発しました(船便なので到着は数ヶ月先)。上記の全てを送ることはできませんでしたが、残ったものについても大切に保管し、またの機会に活用をさせていただくつもりです。

改めて、善意の物資や支援金をご提供いただいた皆様に、心からの御礼を申し上げます。今後も多くの皆様から当会の活動にご理解とご協力を賜りたく、宜しく願いを申し上げます。

(文・写真：山田 規央)

仕分け整理作業の様子～こんなにたくさん集まりました！～



Gracias !

神田綾子さんから
「第1弾の1箱が届きました！」



※国旗・地図の引用:外務省HP (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>)

- INFORMATION -

1. JICAボランティア平成23年度春募集延期のご案内

平成23年4月1日(金)～5月16日(月)の期間に予定されていましたが、青年海外協力隊(JOCV/20-39歳)・シニア海外ボランティア(SV/40-69歳)の募集は当面延期する事になりました(3月18日付)。

今後の募集日程は、下記へご連絡またはJICA公式HPでご確認下さい。→ <http://www.jica.go.jp>

【お問い合わせ】JICA新潟デスク 佐脇 Tel. 025-290-5650 / Fax. 025-249-8122

2. にいがた青年海外協力隊を育てる会第3回総会(平成23年度)のご案内

日時：平成23年6月4日(土)、15:00より

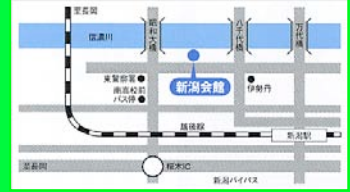
会場：新潟会館(新潟市中央区幸西3-3-1、Tel.025-247-9307) →

内容：昨年度の活動・会計報告と今年度の予算・活動計画

その後に記念講演会、帰国隊員報告会、懇親会(お一人4千円程度)

【お問い合わせ】当会事務局(本紙1頁または次項参照)

※別途ご案内を送付致します。講演会等はお誘い合わせ可能です。



新潟会館HPより引用

(<http://www.niigata-kaikan.com>)

3. 事務局移転のご報告

当会事務局機能を担っている株式会社アルファブライトの社屋移転に伴い、当会事務局も本年2月末に新潟市西大通り沿い、小針十字路付近に移転しました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

→〒950-2012 新潟県新潟市西区小針台1-15 株式会社 アルファブライト 内

Tel. 025-234-1500 / Fax. 025-234-1002 (メールアドレス、公式HPは従来通り)

4. 震災関連街頭救援募金活動のご報告

このたびの震災被災者に対する街頭救援募金活動を、3月21日(月・祝)午前には新潟県青年海外協力協会と協同で新潟駅前、万代、古町にて行ないました。わずか2時間でしたが、総額298,201円が集まりました。その全額は県共同募金会に委託しました。ご協力に心より御礼申し上げます。

当会では新潟県青年海外協力協会と共催で年4回、新潟県から派遣されるJICAボランティアに対して新隊員壮行会を開催しています(新潟駅前にて)。みなさんと隊員たちを激励し、新潟から送り出しましょう!!



平成22年度2次隊

たくさん写真撮って来ます!

2010.09.17

壮行会



平成22年度3次隊

早く現地語を覚えたいです!

2010.12.15

※会員への壮行会開催のご案内は随時、メールマガジンでのみ行なっております(開催時期:3月、6月、9月、12月の各中旬)。



(写真: 横山 容司郎 / 佐脇 奈都代)

* 協賛広告を受け付けます *

私達は新潟から青年海外協力隊を応援しています!
金属加工のことならABCにお任せ下さい

相場産業株式会社

〒955-0814

新潟県三条市金子新田1691-5

Tel.0256-35-7460, Fax.0256-35-7462

URL <http://www.abc-tool.co.jp>



壊れた自転車は、電話一本でOK!
出張修理専門
(新潟県南地区限定)

動く自転車屋

森田 敏明

〒950-0941

新潟県新潟市中央区女池7-10-3

Mobile 090-9009-4709

URL <http://www.jcr-niigata.com>



感動と夢、そして感謝



21世紀の生涯学習を推進する

株式会社アルファブライト

〒950-2012

新潟県新潟市西区小針台1-15

Tel.025-234-1000, Fax.025-234-1002

URL <http://www.alpha-bright.co.jp>



にいがた青年海外協力隊を育てる会
The supporting Organization of JOCV NIIGATA

สวัสดีครับ (サワディークラブ) 本紙第5号発行にあたり、ご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げます。大災害の被害に遭われた方々を想うと胸の痛い日々ですが、このような時こそ私たち一人一人が“天地人”の精神、つまり“人の和”を重んじる気持ちで、助け合わなければならないと思います。被災者の皆様が一日も早く帰郷できることを祈っております。

by พรักไทย (プリックタイ)